

いわさきちひろ生誕100年  前進座公演

協力=ちひろ美術館

原案=松本 猛 台本=朱 海青 演出=鵜山 仁

# ちひろ

— 私、絵と結婚するの —



あなたの知らない  
若き日のちひろに  
会いに来ませんか？

「窓ガラスに絵をかく少女」『あめのひのおるすばん』(至光社)より 1968年

2018年 **12月12日(水)** ホクト文化ホール中ホール (長野駅東口徒歩10分)

【開演時間】 昼の部 14時 / 夜の部 18時30分 (開場は30分前)

【ご観劇料金】 一般 5,000円 / 学生 3,000円 / 限定ペアチケット 9,000円 (1名 4,500円)

主催：『ちひろ』長野公演実行委員会 連絡先：全日本年金者組合長野県本部 TEL 026-224-8686

いわさきちひろ  
生誕100年  
前進座公演

# ちひろ

## — 私、絵と結婚するの —

原案=松本 猛 台本=朱 海青  
演出=鶴山 仁 装置=乗峯 雅寛  
照明=石島奈津子 衣裳=原 まさみ  
効果=川名 あき

いわさきちひろ生誕100年の今年、なぜ、ちひろは子どもたちのしあわせと平和を願って絵筆を握り続けたのか——ちひろがその生き方を決めた原点を探ります。

ものがたり

1946年5月一焼け跡にバラックや闇市のひしめく東京・新宿駅に、くたびれたボストンバッグを提げ、つば広の帽子をかぶった一人の女性が降り立った。

“絵描きとして自立する”という熱い想い、そして消せない過去との葛藤をかかえて。彼女の名は岩崎ちひろ。小さな新聞社に就職し、師や友を得、東京での居場所を見つけていくちひろ。そんなちひろの前に、澄んだ目をした一人の青年が現れた…。

戦争が奪った絵筆、そして戦争が描かせた絵…。敗戦直後の激動の時代を駆け抜けたちひろ、彼女をめぐる若者たち、絵描きたちの青春の物語！



スケッチブックを持つちひろ 1960年



**応援しています**

**山田洋次**  
(映画監督・公益財団法人いわさきちひろ記念事業団代表理事)

**黒柳徹子**  
(女優・ちひろ美術館館長)



### 実行委員長挨拶

山口光昭

ちひろが描いた子どもたちのどの絵からも、優しさといとおしさ、そして幸せいっぱい絵心が伝わってきます。「ちひろってどんな人だろう?」、誰もが知りたい疑問です。

この度、前進座がちひろの青春時代の絵との出会い、さらに、幸せや平和への願いをお芝居にしました。今から、わくわくドキドキです。

沢山の方が、この舞台をご覧になれることをお願いいたします。

### 『ちひろ』公演 呼び掛け人(50音順)

鮎沢聡(日本共産党県委員長)、岩須靖弘(県民医連事務局長)、窪島誠一郎(無言館館主)、小池瑞恵(新日本婦人の会県本部会長)、清水まなぶ(シンガーソングライター)、田澤洋子(原発に頼らない未来創る会代表)、田島隆(ひとミュージアム館長)、遠山茂治(年金者組合県本部顧問)、原健(県社保協事務局長)、細尾俊彦(県労連議長)、堀井正子(文学研究家)、丸山稔(県原水協事務局長)、山口光昭(革新懇代表世話人)、和田登(児童文学作家)

協力:安曇野ちひろ美術館・長野市民劇場・上田市民劇場

後援:長野県 長野県教育委員会 長野市 長野市教育委員会 信濃毎日新聞社 信越放送

### プレイガイド

ホク文化ホール・平安堂若槻店・平安堂東和田店・平安堂川中島店  
長野市芸術館 チケットセンター TEL:026-219-3191  
(10:00~19:00/火曜定休)

★松本公演は12月16日(日)14時開演

【松本キッセイホール】前売:5,000円/当日:5,500円  
(チケットは長野とは別になります)